

人 口	
(1月末日現在)	
世帯数	1,536
人口	4,622
男	2,143
女	2,479

昭和52年3月15日/発行:愛媛県西宇和郡瀬戸町/編集:瀬戸町総務課



あいつく異常寒波

『白一色』に

閉ざされた南予

二月十五日から南予一帯を襲った猛烈な寒波により同、十八日と十九日に、気温は遂に零下六度を記録した。

これは、大正十一年四月宇和島測候所開設以来、大正十二年一月の零下五・六度昭和四月二月の零下五・五度をしのぐ最低気温となった。

又、降雪量も街中で三〇〜五〇cmに達し、記録的な大雪となった。

これに追いうちをかけるように三月四日・五日にも寒波にみまわれ、日中で気温は零下四度にまで下がり、この冬三度目の積雪となった。

この為、町内全域にわたり水道管破裂による断水、道路凍結による交通遮断。又、甘柑・夏柑・野菜等の冷害と被害は甚大で町をはじめ各関係団体及び、取り入れをひかえた生産者はその対策に苦慮している。

おもな内容

- ◆あいつく異常寒波…1
- ◆果樹農家大ピンチ…2
- ◆生活用水ストップ…2
- ◆新入生57人!!…3
- ◆お知らせ…3
- ◆児童の作品…4
- ◆人々のうごき…4

心に太陽を

五年浜口小枝

大雪

大次小学校五年 山口秀夫

今年の寒は、
四十二年ぶりだそうだ。
雪も、すぐつもって……
何もかもが、こおってしまったみたいだ
甘かんも、夏かんも
こごえ死んだみたいだ。
水道管も、こわれてしまった。二日たっ
ても、三日たっても水は出てこない。
今年の寒は、まるで、あくまみたいだ。

国民年金積立金の使途

皆さんが毎月納めている国民年金はそれ
ぞれ毎年の支払いにあてますが余剰金は
国に積みたてられ利息がついて将来の年
金支払に備える財源になります。
この積立金は国民生活の安定福祉の向上
に役立つ生活環境施設などの整備にあて
られています。瀬戸町においても還元融資
を受けて次の施設を施行しました。

上合農道新設事業

佐市農道新設事業

瀬戸町こみ処埋設事業

昭和五十二年一月分

(諸君)



人々のうごき

出
志

宛

に